



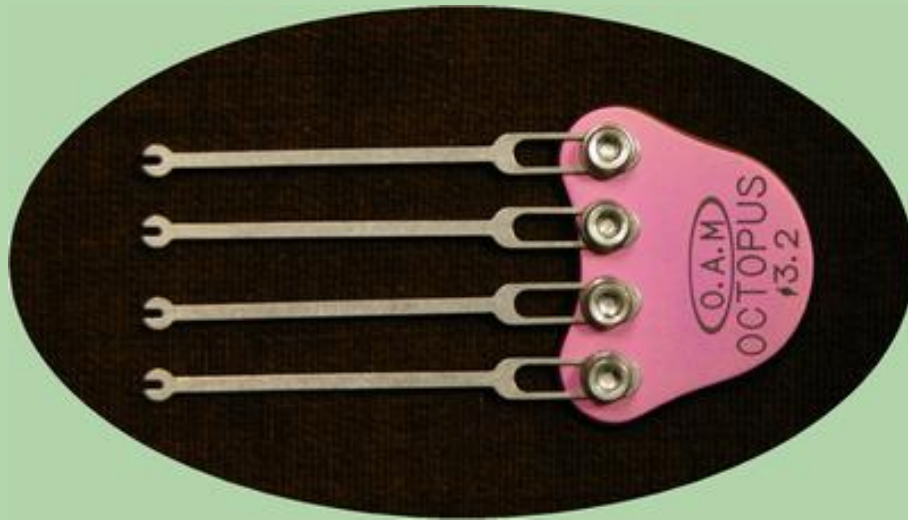
オクトパスの使い方

症例提供：鈴木 光雄先生

オクトパス

粘膜骨膜弁形成後のインプラント窩位置確認用ツール “オクトパス”

複数本埋入の時など、インプラント間距離が術前計画通りに設定するための
ステント代わりのゲージです。



先端部直径 φ3.2mm（ピンク）



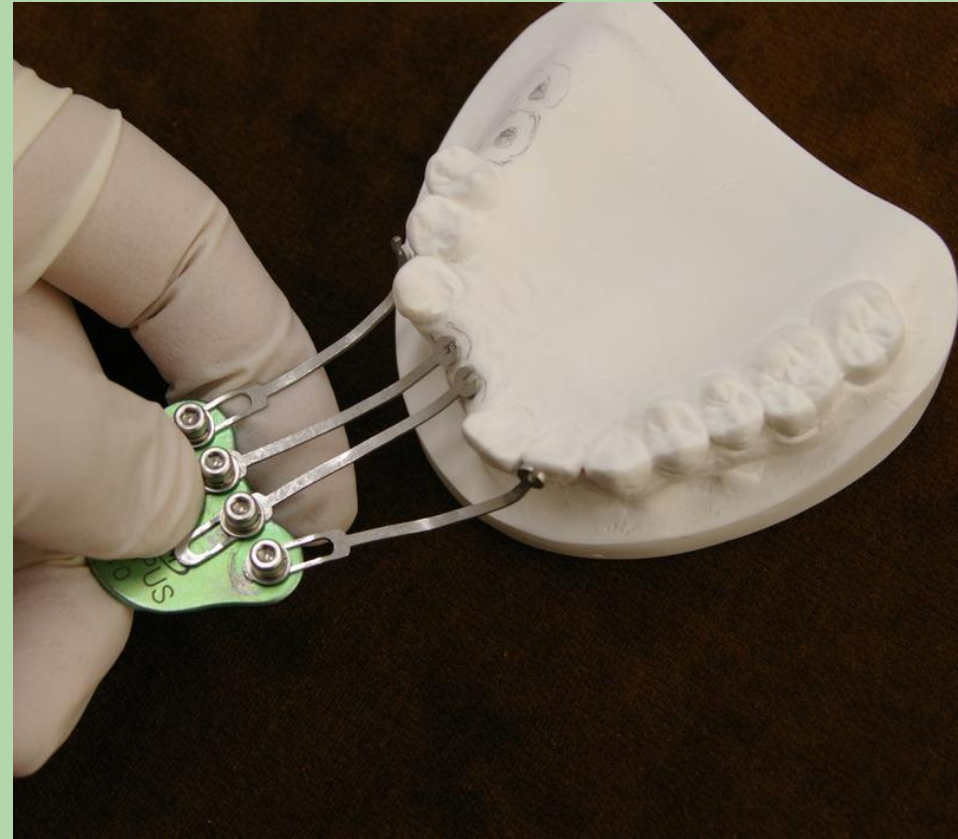
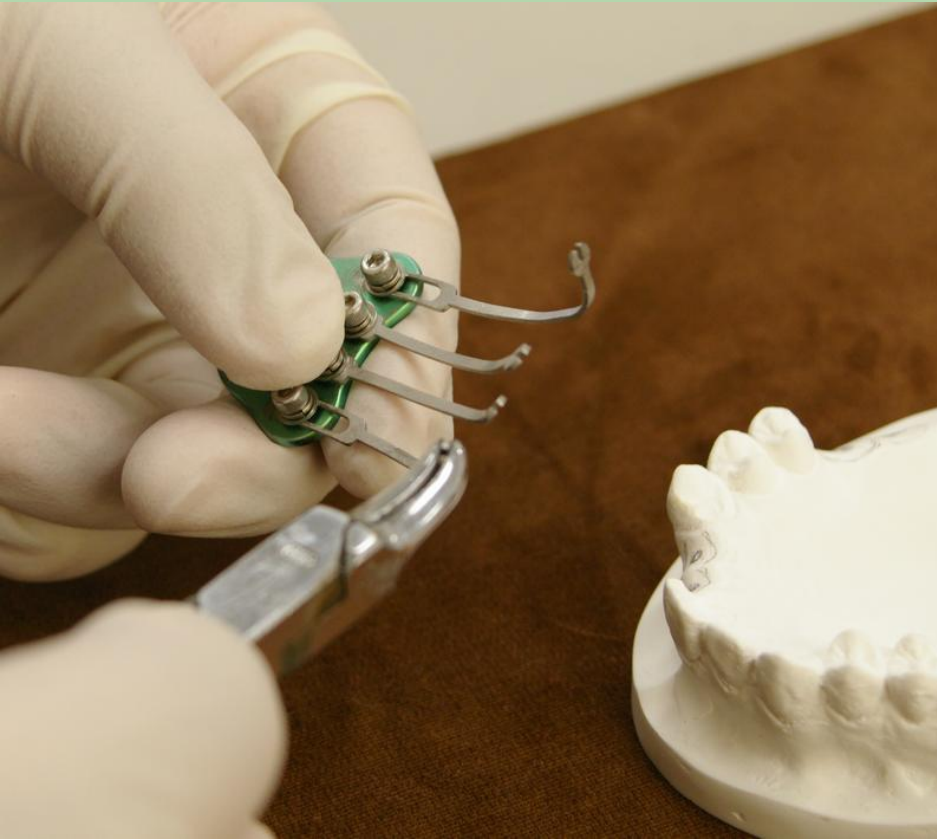
先端部直径 φ4.0mm（グリーン）

オクトパスの使用法



術前診断に基づいて埋入位置を決めます。
ワックスアップを行い、取りあえず理想的な埋入位置をマーキングします。

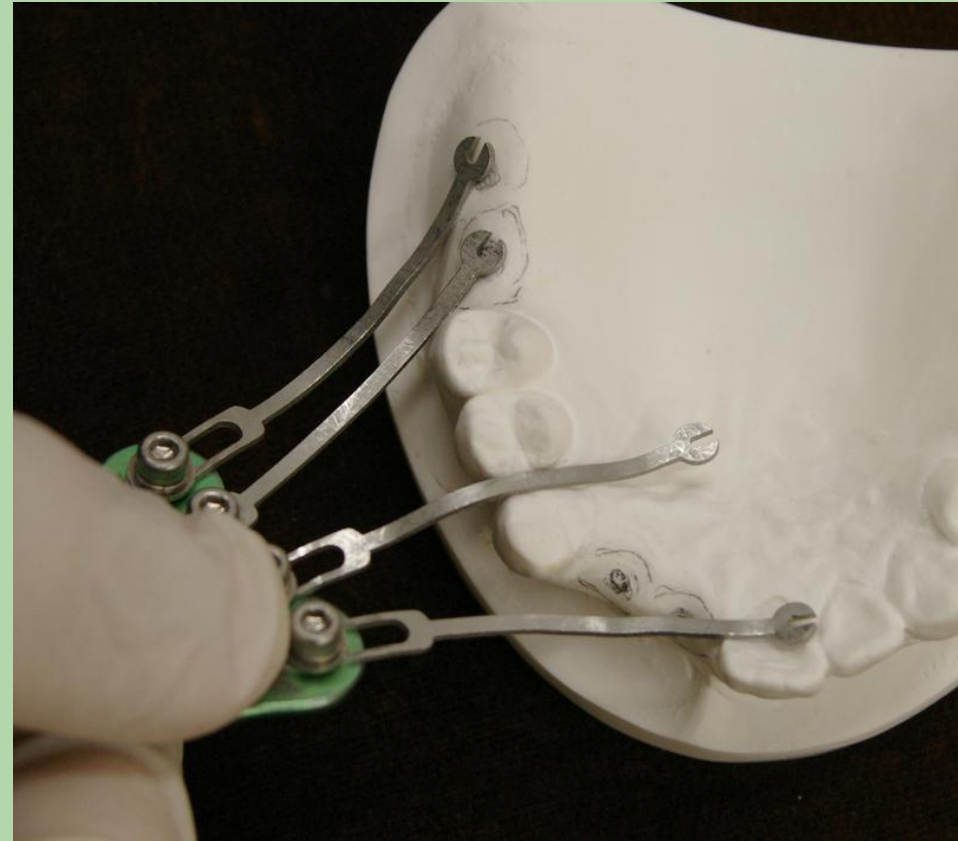
オクトパスの使用法



オクトパスの先端を隣在歯などにヒットさせて、埋入位置を模型上で固定します。次に六角レンチを用いてネジを締めつけます。緩いと口腔内で使用した際にずれます。締め付け後、緩まないことを確認します。その後、滅菌して口腔内で使用します。

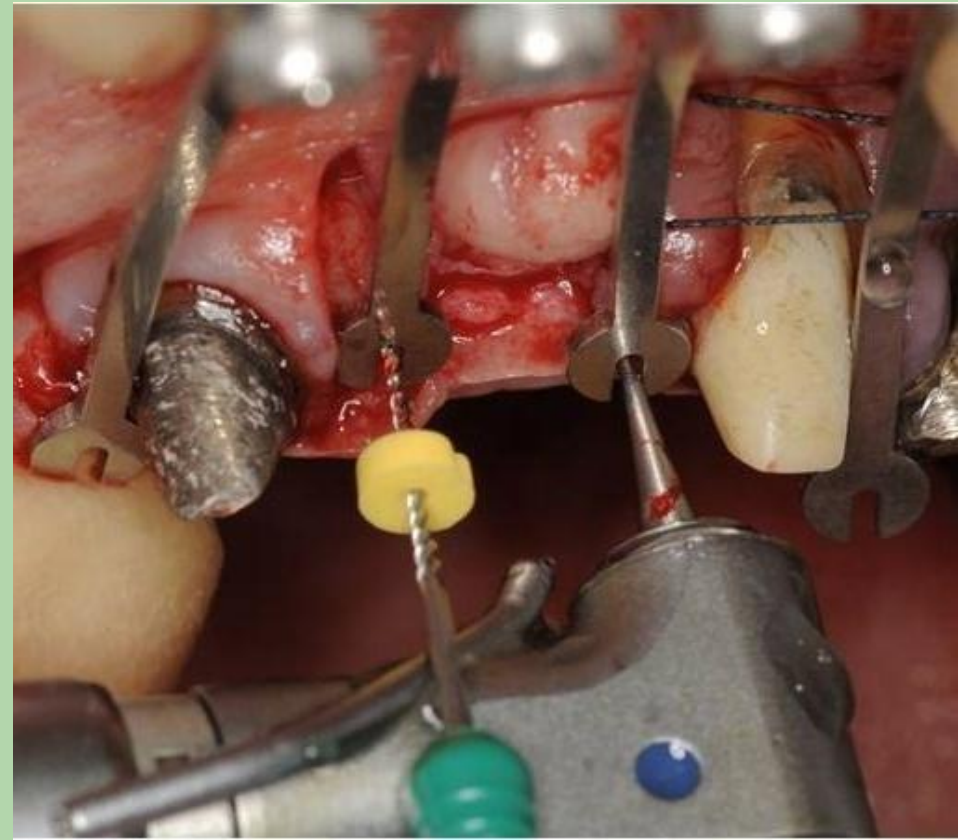
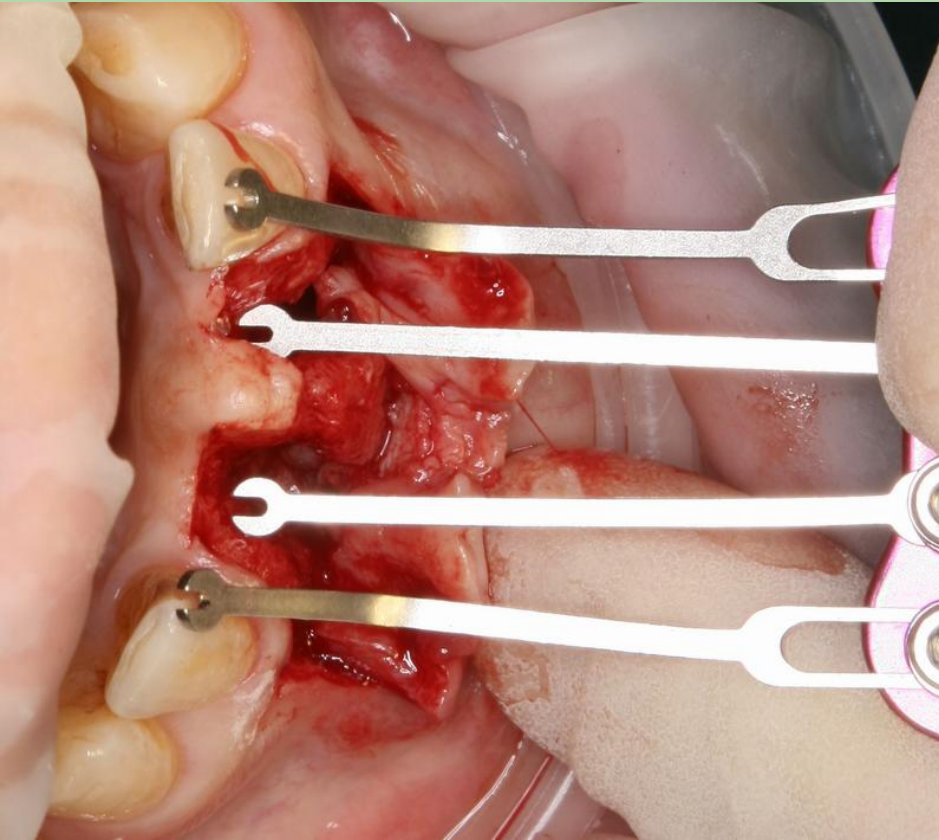
色無の金属は曲げ伸ばし可能ですが、瞬間的に曲げ伸ばしを繰り返すと折れやすくなりますのでご注意ください。

オクトパスの使用法



臼歯部で使用する場合、口角を避けるような角度で埋入位置のみ設定します。
設定後、固定源となる歯牙にヒットさせて埋入位置を模型上で固定してください。

オクトパスの使用法



口腔内での使用方法の一例。
起始点の位置決め、拡大途中のインプラント間距離の確認などに使用します。